（別記）

令和８年度丹波篠山市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

＜現状（令和８年度＞

丹波篠山市は水稲を基幹作物として、特産物である「黒大豆」「枝豆」「山の芋」「大納言小豆」等を組み合わせた輪作体系を取り入れ、地域の気候風土に合った特色のある農作物生産を展開している。しかしながら、零細で分散型の農地所有が多く米の生産費は全国平均より割高と推計される。

当該地域は、全水田面積に占める主食用米面積の割合が 50%を超えている。転作作物では黒大豆が占める面積が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。今後、主食用米の需要が減少する中、他の作物への作付転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

＜課題＞

米の生産調整の終了により各農家がそれぞれで需要に応じた米生産について判断することになるなか、丹波篠山の特産物の生産強化がこれまで以上に重要となってきている。このため、丹波篠山市地域農業再生協議会では、丹波篠山市水田活用方針に基づき、特産物の作付面積の維持とその拡大につながる特産物の生産目標面積を各集落に示し、特産物の生産の推進を図っている。

しかし、主食用米と主要な特産作物とを栽培する生産体制が確立されていること、農家の高齢化や農家戸数の減少が進み、主食用米から手のかかる他の転作作物へ転換するだけの余力がないこと、気候変動により作物の栽培が困難になってきたことなどから、地域的耕作条件の良くない農地における不作付地の拡大が徐々に進んでいる。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

黒大豆・枝豆・山の芋等の特産物は農業経営を支えるうえで、重要な農産物であることから、引き続き積極的な生産振興を図りつつ、現状面積を維持する。

＜安定生産と低コスト化＞

○　関係機関と連携し、営農指導の充実や気候、ほ場状態の情報を周知し、病害虫発生の予察に基づく適期防除の実施や適切な水管理により生産量の安定、品質の向上を図る。

○　集落組織による、機械の共同利用や共同購入を図り、戸別の生産コストの抑制と省力化を推進する。

○　特産作物の団地化栽培を推進することで、農作業の効率化、集落営農組織の活性化を図る。

＜付加価値の高い農作物の生産＞

○　丹波篠山市ではオーガニックビレッジを宣言し、生き物や環境に配慮した農作物の栽培を推進している。以前から本協議会が行っている有機ＪＡＳの取組を継続し、本地域における付加価値が高い農作物の生産を推進する。

○　山の芋をはじめとする地域の特色や歴史のある農作物の生産支援を続け、「丹波篠山ブランド」イメージ向上につなげる。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農地の利用権設定の利用集積により経営規模を拡大し、効率的な生産を行う経営体が存在する一方で、依然として小規模稲作農家が大部分を占めている。集落ぐるみによる営農経営体の育成を図っているが、高齢化や少子化の進行と農業機械の高騰により、組織の維

持や機械の更新が困難になっている地域がある。本市が誇る特産物である黒大豆、枝豆、山の芋、小豆は市場での需要は大きいがその栽培や出荷には多くの手間がかかるため、収益の安定性や労力、手間暇のバランスから転作作物では黒大豆及び黒枝豆が多く栽培されている。市内農家の多くが面積の大小に関わらず栽培しているが、共同栽培やブロックローテーションなど効率的な生産体系を実施している所は少ない。前述のとおり本市の特産物は手間暇がかかるので、農地の維持には機械化による省力化が進んでおり他産地よりも高価格帯で取引されている水稲の生産を中心とせざるを得ない。

こうした中、水稲生産面積を一定に保ちながら農地を維持し、農家所得を安定させるために黒大豆、黒枝豆、山の芋、小豆などの特産農産物の生産振興を引き続き推進し、優良水田を十分に活用できる環境づくりを通じて農業者の所得向上を図ることを方針とする。

また、特産物の団地化栽培を推進し、集落内での効率的なブロックローテーションにつなげるとともに、水稲の作付けが見込まれない農地については、作付体系を定期的に点検し、特産農産物振興を踏まえた畑地活用等を検討していく。

水稲の効率的な栽培が難しい谷あいの農地などは畑地化支援事業を用いて高収益作物や果樹などに転換を進める。

4　作物ごとの取組方針等

（1）主食用米

良食味米の生産技術や環境創造型農業の普及による付加価値の高い米づくりにより、ブランド化、高品質化を進めるとともに、農地集積・集約化による規模拡大や低コスト化を推進してきた。

今後も黒大豆など転作作物の生産維持を図りつつ、水稲との輪作体系による健全な水田活用を進める。

また、売れる米づくりにむけて、化学肥料や農薬の使用を低減し、自然環境に配慮した米づくりを推奨するなど、関係団体や農業者の意識改革に取り組み、「良質」「安心・安全」「低コスト」な米づくりの推進を図る。

（2）備蓄米

備蓄米の作付けは行っておらず、今後の予定もない。

（3）非主食用米

ア）　飼料用米

飼料用米は、畜産農家の減少に伴う需要量減少の懸念があることから、自給飼料生産の推進と地域内での耕畜連携の取組をさらに進めることにより、今後も現状の作付面積を維持していく。

イ）　米粉用米

学校給食用の米粉パンの需要に対応するため現状の作付面積を維持する。

ウ）　新市場開拓用米

丹波篠山市産の米は輸出用米としても需要がある。現在は栽培農家が少ないが、農地維持の観点からも栽培農家の増加及び面積を拡大する。

エ）　ＷＣＳ用稲

耕畜連携の推進及び市内畜産農家の増頭計画、飼料価格の高騰などから、市内需要の拡大が見込まれることから、畜産農家と連携して作付けを拡大する。

オ）　加工用米

学校給食用、米粉用等の需要に対応するため現状の作付面積を維持する。

（4）麦、大豆、飼料作物

農業経営を支えるうえで、重要な特産農産物である黒大豆の生産量の安定を図るため、引き続き積極的な生産振興を図り、現状面積を維持する。

団地化栽培によりブロックローテーションを推進することで地力の維持に努め、高品質な黒大豆の栽培につなげる。

（５）そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき現状の作付面積を維持する。

（６）地力増進作物

高品質で減化学肥料の観点から栽培を推奨する。

（７）高収益作物

えだまめ、ピーマン、山の芋、小豆、うすいえんどうを振興品目として、生産振興及び産地交付金を活用し、作付面積の維持・拡大を図る。

（８）畑地化

効率よく水稲栽培ができない山間部等の狭小な水田を畑地化し本市の特産である黒大豆や黒枝豆の栽培を推進する。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位：ha）

作物等	前年度作付面積等	うち二毛作	当年度の作付予定面積等	うち二毛作	令和８年度の作付目標面積等	うち二毛作
主食用米	2302.3	0	2300		2130	
備蓄米	0	0	0		0	
飼料用米	1.1	0	5		35	
米粉用米	0	0	0		0	
新市場開拓用米	0	0	2.5		2.5	
WCS用稲	20.8	0	20		15	
加工用米	33.6	0	33		75	
麦	3.4	2.4	3	2	2	1.8
大豆	487.1	0.3	500	0.5	550	0.5
飼料作物	5.7	0.9	6	1	6.5	1
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	1.2	0	2	0	2.5	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	3	0.3	4	0.5	4.5	0
高収益作物	370.77	0	431	0	462.5	0
・野菜	340.67	0	400	0	420	0
・花き・花木	11.7	0	12	0	12.5	0
・果樹	0	0	0	0	0	0
・その他の高収益作物	18.4	0	19	0	30	0
その他						
・						
畑地化	33.4	0	0.6	0	0	0

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	修正前 前年度（実績）	修正前 目標値
1	えだまめ	えだまめ	栽培農家戸数の増	（令和7年度） 1,708戸	（令和8年度） 1,875戸
2	山の芋	山の芋	取組み面積拡大	（令和7年度） 13.1ha	（令和8年度） 26.2ha
3	小豆	小豆	取組み面積拡大	（令和7年度） 12.9ha	（令和8年度） 36.0ha
4	ピーマン	ピーマン	取組み面積拡大	（令和7年度） 0.5ha	（令和8年度） 1.5ha
5	一般野菜・花き（整理番号１．２．４に該当する作物を除く作物）	一般野菜・花き	取組み面積拡大	（令和7年度） 39ha	（令和8年度） 40.0ha
6	うすいえんどう（二毛作）	うすいえんどう（二毛作）	取組み面積拡大	（令和7年度） 0.3ha	（令和8年度） 0.5ha
7	有機JAS認定作物	有機JAS助成加算	取組み面積拡大	（令和7年度） 6.8ha	（令和8年度） 13.2ha
8	飼料作物、飼料用米、ＷＣＳ用稲	耕畜連携助成（わら利用、水田放牧、資源循環）	取組み面積拡大	（令和7年度） 4.7ha	（令和8年度） 11.5ha
9	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	二毛作助成の取組（戦略作物）	取組み面積拡大	（令和7年度） 3.2ha	（令和8年度） 3.0ha
10	学校給食用野菜（たまねぎ、青ネギ、白菜、にんじん、きゅうり、かぼちゃ、ほうれん草、大根、キャベツ、水菜、じゃがいも、菜の花、さつまいも、にら、にんにく）	学校給食野菜助成	取組み面積拡大	（令和7年度） 2.1ha	（令和8年度） 1.7ha
11	地域伝統作物（住山ごぼう、大山すいか、天内芋）	地域伝統作物助成	取組み面積拡大	（令和7年度） 2.0ha	（令和8年度） 2.0ha
12	黒大豆・えだまめ（早生を除く黒大豆）	団地化加算	取組み面積拡大	（令和7年度） 1.2ha	（令和8年度） 3.0ha
13	黒大豆	黒大豆	取組み面積拡大	（令和7年度） 425.1ha	（令和8年度） 460ha
14	えだまめ（みどり認定）	みどり認定加算	認定数の増	（令和7年度） 5	（令和8年度） 8

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:兵庫県

協議会名：丹波篠山市地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	えだまめ	1	5,000	えだまめ	作付面積に応じて支援
2	山の芋	1	36,000	山の芋	作付面積に応じて支援
3	小豆	1	13,000	小豆	作付面積に応じて支援
4	ピーマン	1	10,000	ピーマン	作付面積に応じて支援
5	一般野菜・花き	1	10,000	一般野菜・花き（整理番号1．2．4に該当する作物を除く作物）	作付面積に応じて支援
6	うすいえんどう（二毛作）	2	8,000	うすいえんどう（二毛作）	作付面積に応じて支援
7	有機JAS助成加算	1	25,000	有機JAS認定作物	作付面積に応じて支援
8	耕畜連携助成	3	13,000	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	作付面積に応じて支援
9	二毛作助成の取組（戦略作物）	2	15,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	作付面積に応じて支援
10	学校給食野菜助成	1	40,000	学校給食用野菜（たまねぎ、青ネギ、白菜、にんじん、きゅうり、かぼちゃ、ほうれん草、大根、キャベツ、水菜、じゃがいも、菜の花、さつまいも、にら、にんにく）	作付面積に応じて支援
11	地域伝統作物助成	1	20,000	地域伝統作物（住山ごぼう、大山すいか、天内芋）	作付面積に応じて支援
12	団地化加算	1	20,000	黒大豆・えだまめ（早生を除く黒大豆）	作付面積に応じて支援
13	黒大豆	1	2,000	黒大豆	作付面積に応じて支援
14	えだまめ（みどり認定加算）	1	1,000	えだまめ（みどり認定）	作付面積に応じて支援

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

対象作物一覧表

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号			
戦略作物	麦	小麦	１００	9			
		小麦（種子用）	１０１	9			
		六条大麦	１０２	9			
		二条大麦	１０４	9			
		はだか麦	１０６	9			
	大豆	青大豆	１０９	9			
		白大豆（一般）	１２２	9			
		白大豆（契約）	１２３	9			
		白大豆（種子用）	１１２	9			
		黒大豆	１１０	9	12	13	
		黒大豆（種子用）	１１１				
	飼料作物	青刈りとうもろこし	１２４	8	9		
		ソルガム（青刈りソルガム、スーダングラス）	１２５	8	9		
		わら専用稲	１１３	8	9		
		その他青刈り（テオシント、青刈り麦、青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ）	１２６	8	9		
		永年性牧草（オーチャードグラス、チモシー、トールフェスク、メードフェスク、バヒアグラス、アルファルファ、ケンタッキーブルーグラス、アカクローバー、シロクローバー、ペレニアルライグラス リードカナリーグラス、飼料用シバ）	１２７	8	9		
		イタリアンライグラス	１２８	8	9		
		その他一年性牧草（ギニアグラス、カラードギニアグラス、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、オオクサキビ）	１２９	8	9		
		飼料用根菜類（飼料用かぶ、飼料用ビート）	１３０	8	9		
		飼料用穀類（子実用えん麦）	１３１	8	9		
		青刈りハトムギ（飼料用）	１３２	8	9		
		子実用はと麦	１２１	8	9		
		その他飼料作物	１３３	8	9		
		その他飼料作物（資源循環非対象）	１３４	8	9		
		飼料用青刈り稲	１５７	8	9		
	新規需要米	稲発酵粗飼料用稲（専用種）クサノホシ、クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、はまさり、ホシアオバ、タカナリ、兵系飼７８号（兵庫牛若丸）、夢あおば	１３５	8	9		
		稲発酵粗飼料用稲（その他）	１３６	8	9		
	そば・なたね（加工用米）	飼料用米	１１６	8	9		
		米粉用米	１１５	9			
		加工用米	１１９	9			
		そば	１１７	9			
		なたね	１１８	9			
その他作物	野菜	きゅうり	２００	5	7	10	
		トマト	２０１	5	7		
		なす	２０２	5	7		
		大市なす	２８５	5	7		
		ピーマン	２０３	4	7		
		ししとう	２８８	5	7		
		トウガラシ	２９３	5	7		
		ズッキーニ	２８９	5	7		
		かぼちゃ	２０４	5	7	10	
		くり南瓜	２８２	5	7		
		いちご	２０５	5	7		
		すいか	２０６	5	7	11	
		メロン	２０７	5	7		
		キャベツ	２０８	5	7	10	
		キャベツ（裏作転作）	２０９				
		はくさい	２４８	5	7	10	
		はくさい（裏作転作）	２１０				
		さんとうさい	２９２	5	7		
		ほうれんそう	２１１	5	7	10	
		オクラ	２６２	5	7		
		ハス	２６８	5	7		

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号			
その他作物	野菜	ねぎ	２１２	5	7	10	
		太ねぎ	２６３	5	7	10	
		岩津ねぎ	２６５	5	7	10	
		丹波ひかみねぎ	２６６	5	7	10	
		たまねぎ	２５４	5	7	10	
		たまねぎ（裏作転作）	２１３				
		らっきょ	２９１	5	7		
		レタス	２１４	5	7		
		レタス（裏作転作）	２６４				
		だいこん	２５６	5	7	10	
		だいこん（裏作転作）	２１５				
		青味だいこん	２８４	5	7	10	
		にんじん	２１６	5	7	10	
		にんじん（裏作）	２８７				
		さといも	２１７	5	7		11
		れんこん	２１８	5	7		
		しょうが（根ｼｮｳｶﾞ）	２１９	5	7		
		えだまめ（白大豆）	２２０	1	7	14	
		えだまめ（黒大豆）	２５５	1	7	12	14
		青さやいんげん	２２１	5	7		
		未成熟とうもろこし	２２２	5	7		
		食用ばれいしょ	２２３	5	7	10	
		食用かんしょ	２２４	5	7	10	
		尼藷（あまいも）	２８１	5	7		
		アスパラガス	２２５	5	7		
		きのこ類	２２６	5	7		
		ブロッコリー（裏作転作）	２２７				
		ニラ	２２８	5	7	10	
		やまのいも	２２９	2	7		
		未成熟そらまめ	２３０	5	7		
		一寸そら豆	２３７	5	7		
		しゅんぎく	２３１	5	7		
		青さやえんどう	２３２	5	7		
		うすいえんどう	２３８	5	6	7	
		かぶ	２３３	5	7		
		ごぼう	２３４	5	7	11	
		まくわうり	２３５	5	7		
		しろうり	２３６	5	7		
		べっちんうり	２８０	5	7		
		とうがん	２８６	5	7		
		セロリ	２３９	5	7		
		食用ななな	２８３	5	7	10	
		その他つけな類	２４０	5	7		
		みつば	２４１	5	7		
		パセリ	２４２	5	7		
		ふき	２４３	5	7		
		しそ	２４４	5	7		
		なた豆	２４５	5	7		
		うど	２４６	5	7		
		キクイモ	２４７	5	7		
		チンゲンサイ	２４９	5	7		
		その他中国野菜	２５０	5	7		
		その他野菜	２５１	5	7		
		加工食品用ばれいしょ	２５２	5	7		
		カリフラワー	２５３	5	7		
		しろな	２５７	5	7		
		こまつな	２５８	5	7		
		みずな	２５９	5	7	10	
		ヤーコン	２６０	5	7		
		わさび	２６１	5	7		
		セリ	２６７	5	7		
		その他湛水性作物	２６９	5	7		
		モロヘイヤ	２７０	5	7		
		バジル	２７１	5	7		
		ハーブ	２９０	5	7		

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号		
その他作物	野菜	ニンニク	２７２	5	7	10
		ニンニク（特産）	２７３	5	7	10
		みょうが	２７４	5	7	
		ゴーヤ	２７５	5	7	
		よもぎ	２７６	5	7	
		わらび	２７７	5	7	
		こごみ	２７８	5	7	
		施設野菜	２７９	5	7	
	果樹	日本なし	４０１			
		西洋なし	４０２			
		もも	４０３			
		うめ	４０４			
		びわ	４０５			
		かき	４０６			
		くり	４０７			
		いちじく	４０８			
		キウイフルーツ	４０９			
		ゆず	４１０			
		すだち	４１１			
		ブルーベリー	４１３			
		うんしゅうみかん	４１４			
		りんご	４１５			
		ぶどう	４１６			
		レモン				
		おうとう	４１７			
		その他果樹	４１２			
	花き	花き	５００	5		
		若松	５０１	5		
		花木	５０４	5		
		種苗類	５０２	5		
		芝	５０３	5		
		ツノナス	５０５	5		
		カーネーション	５０６	5		
		ストック	５０７	5		
		なたね（花）	５０８	5		
		キク	５０９	5		
	地力増進作物	キンセンカ	５１０			
		地力増進水稲	６５８			
		とうもろこし（地力）	６５０			
		ソルガム（地力）	６５１			
		クローバー（アカ、シロ）	６５２			
		れんげ（地力）	６５３			
		ヘアリーベッチ（地力）	６５４			
	景観形成作物	その他地力増進作物	６５５			
		コスモス	７００			
		ひまわり（景観）	７０１			
		なたね（景観）	７０２			
		マリーゴールド	７０３			
		れんげ（景観）	７０４			
		そば（景観）	７０５			
		べにばな	７０６			
		チューリップ	７０８			
		ヘアリーベッチ（景観）	７０９			
		その他景観形成作物	７０７			

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号		
その他作物	その他の作物	ハトムギ	９００	5		
		その他雑穀	８００	5		
		小豆	９０１	3		
		白小豆	９０５	3		
		落花生	９０２	5	7	
		その他豆類	９０３	5	7	
		大納言小豆	９０４	3		
		薬用作物	８２５	5	7	
		まんねんたけ	８２６	5	7	
		うこん	８２７	5	7	
		ドクタミ	８４０	5	7	
		カワラケツメイ	８４１	5	7	
		その他薬用きのこ	８２８	5	7	
		香料作物	８２９	5	7	
		みつ源れんげ	９１１	5	7	
		みつまた	９１２			
		その他一般作物	８４８	5	7	
		ひまわり	８４９	5	7	
		藍	８５０	5	7	
		綿花	８５１	5		
		ごま	８５２	5	7	
		こうぞ	９１４			
		切花用母樹	９１５			
		その他永年性作物	８２０			
		山椒	８２１			
		朝倉山椒	８２４			
		ユーカリ	８２２			
		たらの芽	８２３			
		たばこ	８３７	5	7	
		こんにゃく	８３８	5	7	
		その他特例作物扱い	８３９	5		
水稲	その他	茶	９３４			
		桑	９３５			
	新規需要米	援助米	９１６			
		試験研究米	９１７			
		新規需要米（輸出用米）	１５４			
		新規需要米（種子）	１５６			
		バイオ燃料用米	１５９			
		新規需要米（その他）	１５５			
	主食用水稲等	新規需要米（枠外酒米）	１６４			
		加工用青刈り稲	１５８			
		直播栽培	１６０			
		有機栽培	１６１			
		その他減収栽培	１６２			
		その他減収栽培（２）	１６３			
		主食用水稲	１５０			
		酒造好適米	１５１			
		種子生産ほ場（種子用米）	１５２			
		備蓄米	１５３			

（注意）
上記以外のコードは使用しないで下さい。